



岳洋学舎経営構想

※中学生は7、8、9年生と位置付ける。

1 目指す子ども像

- (1)自分オリジナルの考え方をもち、積極的に表現する子
- (2)たくましさの源となる「自己有用感」が高い子
- (3)学力の三要素のひとつ「学びに向かう力・人間性等」が高く、自分から学習に向かう子

2 取組の中核

「学力向上」

キーワード→自己肯定感向上、経験値向上

- (1)向上させる学力について
 - ア 授業に主体的に取り組んでいる
 - イ 相手を意識して、分かりやすく伝えようとしている
 - ウ わかったことや学習の振り返りを書くことができる

学校経営目標1…「今日育」

児童が日々安心して笑顔で笑顔で活動する学校

- ・学校は楽しい **A評価 65%**
- ・みんなで何かすることは楽しい **A評価 80%**

重点目標
思いをもち 挑戦しよう

児童の実態

- 思いをもつことができれば、自信をもって、主体的にやることができる。
- 心のチャンピオンを目指した。
- 友達の良さを見つけることが得意
- △個の力高めたい
- △メタ認知能力が低い。
- △目的意識が低い。「何のために」が弱い。

学年・学級で

授業で

学校経営方針…「安全安心」「人権尊重」

学校経営目標2…「教育」

児童が主体的に取り組み、
 学びの実感をもつ授業を実践する学校

- ・授業がわかる **A評価 50%**
- ・授業に主体的に取り組んでいる **A評価 45%**
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている **A評価 50%**
- ・岳洋学舎としての取組 **AB評価 80%**

学校経営目標3…「共育」

子供同士、子供と職員、職員同士が協力し高め合う学校

学びを地域に開き、保護者・地域に信頼される学校

- ・信頼できる先生がいる **A評価 75%**
- ・地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある **A評価 75%**

生徒指導

人間尊重の精神を基盤にした心の教育

誰一人取り残さない教育の実現に向けた「支える生徒指導」

学年・学級経営で「子供の自信・個の力」を育てる

～児童が日々安心して生き生きと楽しく生活する学級・学年づくり～

人権教育 特別支援教育 福祉教育 国際理解教育 健康教育 安全教育 環境教育

学びづくり部

・授業で「子供の自信(自己肯定感)・個の力」を育てる。

～児童が主体的に取り組み、
 学びの実感をもつ授業づくり～

活動づくり部

・行事・活動で「子供の自信(自己肯定感)・個の力」を育てる。

～児童が「自分ごと」としてつくる
 行事・活動づくり～

行事・活動で

信頼される頼もしい職員集団

になるための行動指針

- 【安全安心】【人権尊重】【信頼関係】
- 【自己研鑽】【責任協働】【業務改善】
- 【適正服務】

子供たちに寄り添う職員集団

になるための業務改善

- ・勤務実態自己管理により、勤務状況を把握し、改善に生かす。
- ・有効会議の精選
- ・日課と行事の見直し
- ・電算処理の活用
- ・不祥事根絶研修
- ・ホームページは級外が行う。
- ・学級学校支援、SSSの効果的配置・活用

研修

<研修主題> 思いをもち 学び続ける子の育成

◎子供を主語に授業づくり (単元構想)

- ・魅力ある学習問題の設定
- ・メタ認知を促すための振り返り